



MLP ウィークリー

2017年4月第2週号(2017年4月11日発行)

2017年4月7日時点

(1週間前=3月31日、前月末=3月末、前四半期末=3月末、前年末=2016年12月末)

なお、休場の場合は、直前の営業日のデータを使用

■先週のS&P MLP 指数の動き

先週のS&P MLP 指数(米ドルベース/トータルリターン)は、前週末比+0.5%と2週連続での上昇となりました。3日(月)は、リビア最大級のシャララ油田の操業再開が伝えられ原油価格が反落する中、MLPも小幅反落しました。4日(火)は、北海のバザード油田について、予定外の操業停止が伝えられたことを受け、原油価格が反発したことから、MLPも小幅反発しました。5日(水)は、FOMC(米連邦公開市場委員会)の議事要旨が公開され、FRB(米連邦準備制度理事会)の保有資産について、年内縮小開始を推す声が大勢だったことなどを受け米国株式市場が小幅下落したことから、MLPも下落しました。6日(木)は、原油価格の続伸が好感されたことに加え、日本のコンビニ大手によるガソリン小売事業の買収の発表を受け、中堅MLPの価格が大きく上昇したことが背景となり、S&P MLP 指数は+1.2%と週の中で最も大きく上昇しました。7日(金)は、地政学的リスクの高まりを背景に方向感を欠く展開となり、MLPは反落して週末を迎えました。

■主要指標の動き

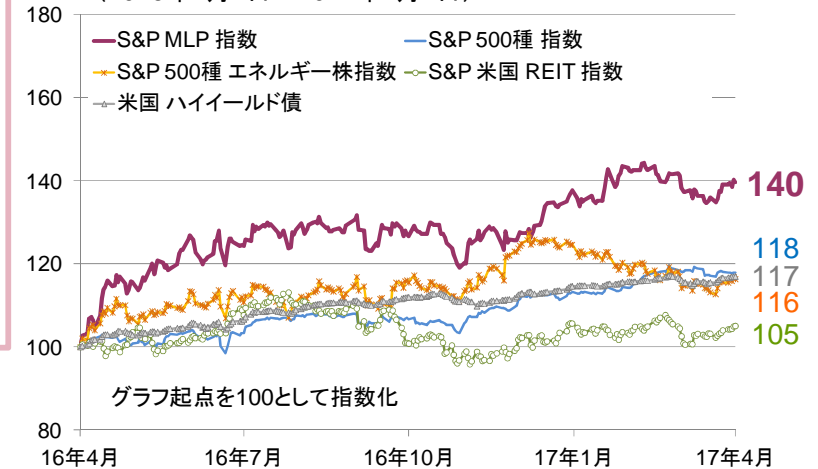
* 過去1年(2016年4月7日~2017年4月7日)

	指数値 2017/4/7	騰落率				過去1年*	
		週間	前月末比	前四半期末比	前年末比	高値	安値
S&P MLP 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	5,055.78	0.5%	0.5%	0.5%	4.2%	5,220.31	3,617.68
プライスリターン	1,805.16	0.5%	0.5%	0.5%	2.5%	1,874.92	1,388.74
S&P 500種 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	4,527.20	-0.2%	-0.2%	-0.2%	5.8%	4,595.73	3,781.02
プライスリターン	2,355.54	-0.3%	-0.3%	-0.3%	5.2%	2,395.96	2,000.54
S&P 500種 エネルギー株指数(米ドルベース)							
トータルリターン	876.74	0.6%	0.6%	0.6%	-6.1%	959.65	753.44
プライスリターン	517.13	0.6%	0.6%	0.6%	-6.7%	569.85	456.80
S&P 米国 REIT 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	1,204.81	1.0%	1.0%	1.0%	1.6%	1,297.23	1,099.20
プライスリターン	314.91	1.0%	1.0%	1.0%	0.5%	349.03	292.58
米国ハイイールド債(BofAメリルリンチ・米国ハイイールド・マスターII・インデックス(米ドルベース))							
トータルリターン	1,209.60	0.3%	0.3%	0.3%	3.0%	1,211.78	1,033.81
プライスリターン	78.42	0.2%	0.2%	0.2%	1.3%	79.06	71.50
米国10年国債利回り	2.38%	-0.00	-0.00	-0.00	-0.06	2.62%	1.35%
原油(WTI) 米ドル/1バレル当たり	52.24	3.2%	3.2%	3.2%	-2.8%	54.45	37.26
天然ガス(ヘンリーハブ) 米ドル/百万btu当たり	3.19	3.0%	3.0%	3.0%	-13.3%	3.76	1.72
米ドル(対円)	111.10	-0.3%	-0.3%	-0.3%	-5.0%	118.18	99.89

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

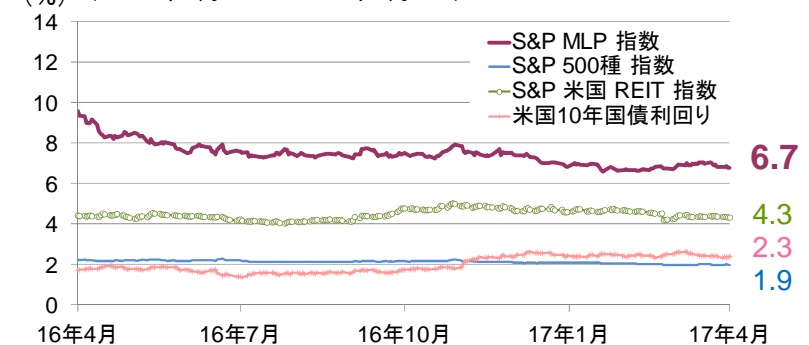
■過去1年の指数の推移(米ドルベース/トータルリターン)

(2016年4月7日~2017年4月7日)



■各資産の利回り

(%) (2016年4月7日~2017年4月7日)



※「米国10年国債利回り」の騰落率は、変化率(%)ではなく、利回りの変化幅を示しています。

※ 各指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

日興アセットマネジメント

facebook twitter で、
経済、投資の最新情報をお届けしています。

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界の経済、金融・資本市場についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する見解は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。